


7体の神輿が練り合う作州最大の秋祭り
新野まつり



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	にいのまつり
所在地	津山市新野山形
指定年月日	昭和52年4月8日
解説	毎年11月3日に、八幡神社を中心に近隣の5つの神社から7体の神輿(みこし)が参加し、稲塚野の御神事場で練り合う美作地方最大規模の祭礼である。練りには獅子舞、神輿練りなど伝統的な形式を継承している。練りの後、神輿七体の前で少女達巫女による「浦安の舞」が奉納され、荘厳な雰囲気醸し出す。
アクセス方法	JR津山駅から日本原方面行きバス「津山市勝北支所前」下車徒歩15分
公開状況	11月3日(祝)
設備	駐車場 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	新野まつり
よみかた	にいのまつり
しょざいち (所在地)	津山市新野山形
していたひ (指定した日)	昭和52年4月8日
せつめい	八幡神社(やはたじんじゃ)を中心に5つの神社から7体のおみこしが集まります。そこで獅子舞(ししまい)やおみこしの練(ね)りなどが行われます。その後、7体のおみこしの前で少女たちの巫女(みこ)による舞(ま)いが行われます。作州地方(さくしゅうちほう)最大(さいだい)の秋祭りです。